

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2016年45週の県全体の定点当たり報告数は、44週の2.68から増加し3.14となった。過去4年の同時期と比較し多い。季節変動性があり、冬から春にかけて患者が増加するため、今後の流行状況に注意が必要である。

保健所別では、16保健所中12保健所管内で増加し、夷隅(10.00)、長生(7.50)、船橋市(5.27)、印旛(4.38)、柏市(3.78)、山武(3.67)、君津(3.38)、香取(3.33)が多い。

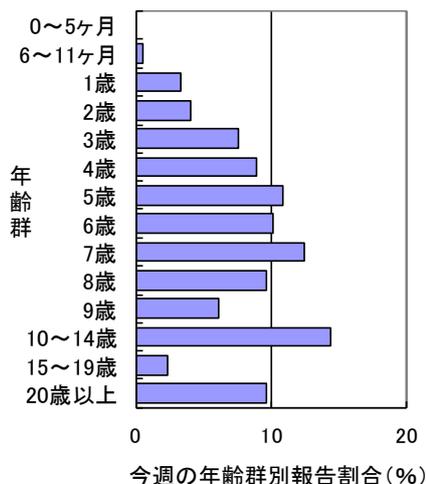
2016年45週に報告された424例の性別は、男性219例(51.7%)、女性205例(48.3%)で、年齢群別では、3～9歳が279例で65.8%を占めていた。

<参考>

1) 病原微生物検出情報(IASR)溶血性レンサ球菌感染症 2012年～2015年6月

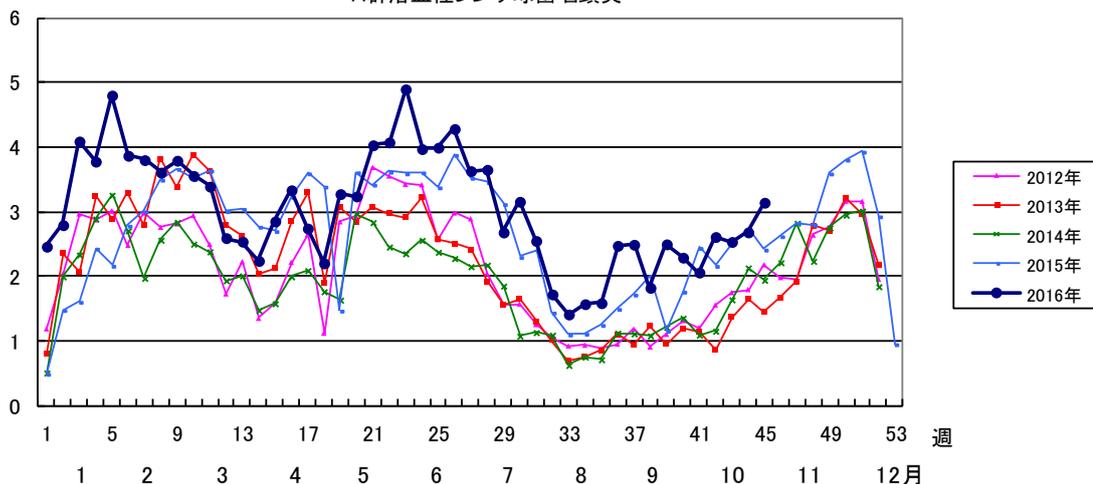
URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/group-a-streptococcus-m/group-a-streptococcus-iasrtpe/5843-tpc426-j.html>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



定点当たり報告数

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□第41週 □第42週 □第43週 □第44週 ■第45週

